



平成 23 年 4 月 28 日

各 位

東京都千代田区大手町二丁目 6 番 1 号
信越化学工業株式会社
代表取締役社長 森 俊三
(コード番号 4063)

問合せ先：
取締役広報部長 中村 健
TEL(03)3246-5091

「東北地方太平洋沖地震」による影響について

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社は、これまで当社グループにおける被災工場の状況に関して、ホームページにてお知らせしてまいりましたが、現時点での状況につきまして、下記の通り、お知らせいたします。

記

【信越化学工業(株) 鹿島工場】

- ① 3 月 11 日以降、操業を停止しておりました塩化ビニル樹脂の工場では、場内にある原料在庫を使い、4 月 28 日に一部の設備での操業を開始致しました。鹿島コンビナート全体の復旧計画の中、当社の塩化ビニル工場の本格的な稼働は本年 5 月末を目標としております。
なお、本格稼働にいたるまでの期間は、米国のシンテック社の協力も仰ぎながら、震災による塩ビ事業への影響を最小限に留めて参ります。
- ② 光ファイバー用プリフォームにつきましては、ユーティリティー（電力、水など）の供給が開始され、原料調達での一定の目処が立ったことにより、4 月 18 日に部分的に操業を開始しました。
今後も順次休止している機器の立ち上げをして参ります。

【信越半導体(株) 白河工場】

- ① 3 月 11 日以降、操業を停止しておりました白河工場では、4 月 20 日から一部操業を再開しました。目下、復旧作業を加速しており、今後段階的に稼働を上げて参ります。本年 6 月末から 7 月には、被災前の生産能力の水準に戻すことを目標として取り組んでおります。
- ② 一方、信越グループが国内外に有する半導体シリコンの製造拠点において、それぞれの稼働を引き上げるにより、対応しております。

なお、上記の見込みにつきましては、現時点で想定しているものであり、余震の発生など状況により、変更となる可能性があることをご了承下さい。

また、今年の夏に予想されている東京電力および東北電力管内での電力不足の問題に対しては、弊社が持つ技術と知見を生かしながら全社を挙げて節電に取り組んでまいります。さらに、直江津工場や群馬事業所にあります自家発電設備の稼働率を高めることにより対処してまいります。

弊社は引き続き安全を最優先としながら早期復旧に向けて全力で取り組んでまいります。状況に進展がございましたら速やかにお知らせいたします。

以上